江差町　町民ワークショップ開催結果報告

◆ 開催目的 ◆

「地域の"今"を知って、未来の江差町を考えよう！」をテーマに、町民の皆さんが江差のまちの課題や将来像について話しあい、いただいた意見を江差町の「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」策定の参考資料とするため。

◆ 開催概要 ◆

【日　　時】平成30年10月12日（金）第一部　14:00～16:00　第二部　18:00～20:00

【場　　所】皐月蔵（姥神土蔵）

【参加人数】江差町内の各団体及び江差町の住民などのべ29名が参加。

【概　　要】事務局から「都市計画マスタープラン」と「立地適正化計画」の策定趣旨を説明し、まちづくり町民アンケート結果等を説明。その後、グループに分かれて討議。

テーマは、「今の江差（いいところ・わるいところ）」・「20年後の江差のいいところ」・「20年後の江差を実現するために～まとめ～」の３つ。

Ⅰ　ワークショップの様子

ワークショップ会場の皐月蔵

池ノ上真一准教授からアドバイス

グループ討議の様子

発表の様子

Ⅱ　討議結果

【第一部Aグループ】

グループ討議の様子1

グループ討議の様子2

発表の様子

意見のまとめ

Ⅱ　討議結果

【第一部Aグループの意見】

テーマ	今の江差のいいところ	今の江差のわるいところ	20年後の江差のいいところ	実現するために
意見	**【人】** ・地域の繋がりが濃い。 ・人柄が良い（気さく）。 ・子ども達が元気！！ ・人情豊で人がいい。 **【景観】** ・海が見える。 ・いにしえの街並みがきれい。 ・歴史的な建物がある。 ・海、山が近い。 ・かもめ島すごい（絶景）。 ・景観。観光地が多い。 **【防災】** ・街がコンパクト。 ・災害に強い。 ・災害があまりない。 **【食】** ・新鮮な食料品が手に入る。 **【観光】** ・観光に力を入れている。 ・道内で歴史がある。 **【その他】** ・街並みが綺麗。 ・やはり祭が良い。	**【交通】** ・都市からのアクセスが不便。 ・公共交通が不便。 ・交通路が少なく、災害に弱い。 **【若者】** ・若い人には、退屈な街。 ・若い人が少ない。 ・子供たちの希望する職がない。 **【娯楽】** ・遊ぶ所や時間をつぶす所がない。 ・休日になると外出する（遊びに行く）には江差町外に出かけないといけない。 ・街と街の距離が遠い。 **【景観】** ・市街地では、海を感じることが出来ない。 **【自然】** ・風が強い。 ・冬になると観光客が減る。 **【その他】** ・道の駅が小さい。 ・空家、空店舗が多い。 ・医療格差がある。 ・町のセールポイントが少ない。	**【かもめ島】** ・かもめ島に上陸できる人が増えていてほしい。ユニバーサルデザイン化して、階段がなくても行けるようになっていてほしい。 ・かもめ島に空港を建設してほしい。 **【風力】** ・風が強いのを活かし、風力発電の街にする。 **【食】** ・地場の産品がすぐに買える。 ・食の核がある街。 **【生活】** ・災害が少ないので、住みやすいと町民が増えていてほしい。 ・生活できるくらいの仕事がある街であってほしい。 ・雇用（希望する職種）がたくさんあってほしい。 ・音楽、絵など観光客が楽しめる街（イベント開催等）になってほしい。 ・たくさんの高齢者が活躍していてほしい。 ・町内各地域のつながりが残っている街であってほしい。 ・地域の深いつながりが、たくさんあってほしい。 ・今と変わらず、綺麗な海が見える。 **【交通】** ・バスで巡れる街。 ・バスだけでない公共的な交通。 ・鉄道がなくても足を運ぶ魅力のある街。 ・高速道路の出口が賑わう。 **【まちのこと】** ・友人に自信をもって案内できる街。 ・商店街に活気を取り戻したい。 ・市街地の空き店舗がない。 ・空き家を活用する。 **【子育て】** ・子育てがしやすい町。 ・子どもがたくさんいる街であってほしい。 ・体育館をつくってほしい。 **【その他】** ・観光客を頼りにしすぎない街であってほしい。 ・柳崎の店は、減っているのではないか。	**【コミュニティ】** ・地域活動に積極的に参加する。 ・それぞれができる事をする。 ・声をかけ合う。 ・社会参加してお金が貰える仕組をつくる。 ・住民全体で協力し合う！！ ・役割を決める。 ・地域性を考えてまちづくりを！ **【産業】** ・事業者の支援（担い手支援）をする。 ・一次産業については、個人だけではなく、まとまりをもった組織にする。 **【商店街】** ・商店街の連携を図る。 ・空き店舗をレンタルする！！ ・空き家バンクの制度を現実化する。 ・なるべく地元で買いものをするように心がけ、町の中から元気を付けて、魅力ある町にしていきたい。 **【交通】** ・道内観光ルートに江差を組み込む。 ・ショッピング施設を循環するバスルートの確立。 **【若者】** ・子育てサービスを充実する。 ・江差町に大学等のキャンパスを誘致する。 ・まちづくりに若い人の意見を取り入れる。 ・若者を育てる機会をつくる。 ・youtuberを育成する。 **【イベント】** ・かもめ島を活用する。魚釣り場としてイベントを開催したり、ロープウェーでつなげ、観光ポイントとして活用する。 ・イベントを連日開催したり、夜間のイベントを開催する。 **【その他】** ・町民がより元気になるための運動を指導する。 ・風力発電について景観上の配慮をする。

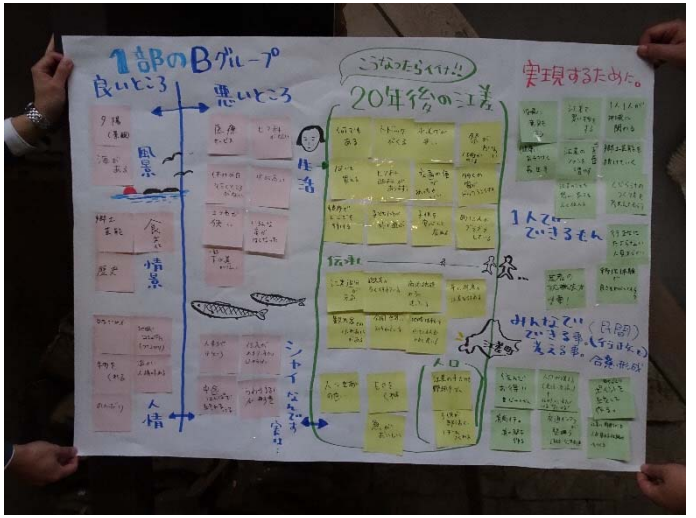
Ⅲ　討議結果

【第一部Bグループ】

グループ討議の様子1

グループ討議の様子2

発表の様子



意見のまとめ

Ⅲ　討議結果

【第一部Bグループの意見】

テーマ	今の江差のいいところ	今の江差のわるいところ	20年後の江差のいいところ	実現するために
意見	**【風景】** ・夕陽（景観）が良い。 ・美しい海がある。 **【情景】** ・郷土芸能がある。 ・食文化がある。 ・歴史がある。 **【人情】** ・なごやかな人が多い。 ・地域コミュニティ（つながり）がある。 ・物をくれる。 ・温かく、人情味のある人が多い。 ・のんびりしている。	**【生活】** ・医療サービスが不足している。 ・皮膚科がない。 ・休みの日に遊びに行くところがない。 ・水道代が高い。 ・土地が狭い。 ・いろんな店がなくなった。 ・一部下水道がない。 **【シャイなんです実は…】** ・人任せの性格が多い。 ・住民がイベント等にあまり参加したがらない。 ・中途半端で終わる。 ・うわさ話しが好き。	**【生活】** ・何でもある。 ・何でも買える。 ・「トドック（コープさっぽろ宅配システム）」が来てくれる。 ・水道代が安い。 ・祭がにぎわう。13台の山車がしっかり残っている。 ・ヒフ科 眼科があります！交通の便が良い。 ・多くの家がドックラン付き。 ・徒歩でどこでも行ける。 ・子どもたちが外で遊ぶ。 ・子供を安心して産める。 ・町に人がブラブラしている。 **【伝承】** ・江差追分が元気。 ・観光客がたくさんやってくる。 ・宿泊施設が多く建っている。 ・リピーターとして何度も観光客が来てくれる。 ・江差を離れた人も年に何度か江差を訪れる。 ・観光客とのふれあいがある。 ・全国的に、世界的に有名になる。 ・地域活動をやっている人がいると良い！ **【人口】** ・江差の子だけで野球チームが作れる。 ・子供の部活で1チーム作れる。 **【その他】** ・人づきあいが良い。 ・ものをくれる。 ・魚がおいしい。	**【1人でできるもん】** ・役場に意見を言う！ ・江差で買い物をする。 ・1人1人が地域に関わる。 ・健康に気をつけて長生きする。 ・江差のファンを増やし、友達も江差町に連れてくる。 ・郷土芸能を続けていく。 ・江差のことを想い、良さを広く伝える。 ・くじら汁の作り方を教えてもらう。 ・行政に頼らない人財づくり。 ・若者の就職先が必要！移住体験で良さをわかってもらう。 **【みんなでできる事、考える事。合意形成すること（民間や行政も）。】** ・住んでお得になる制度。循環させる（使ったら戻ってくる仕組み）。 ・定住や交流を促進して人口を増やす。住みたい、来たくなる町になる。 ・ポイントを絞って、まちづくりをする。 ・道南イチの道の駅を作る。 ・道路や公共交通などの交通インフラを整える。 ・江差の南側にも人が集まる仕組みをつくる。

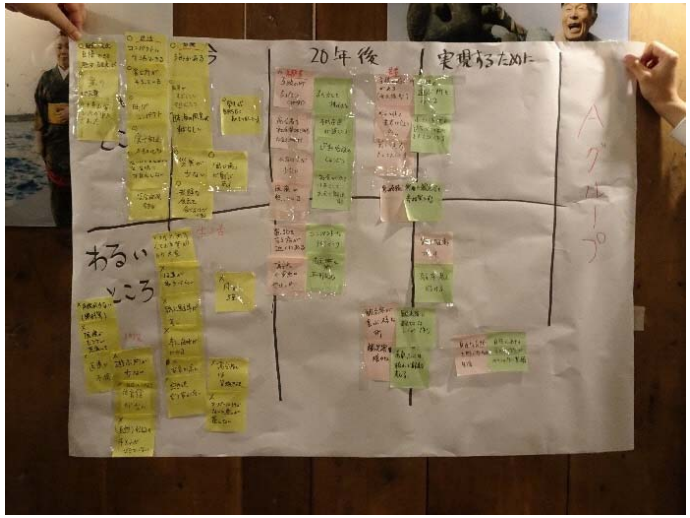
Ⅲ　討議結果

【第二部Aグループ】

グループ討議の様子1

グループ討議の様子2

発表の様子



意見のまとめ

Ⅲ　討議結果

【第二部Aグループの意見】

テーマ	今の江差のいいところ	今の江差のわるいところ	20年後の江差のいいところ	実現するために
意見	**【歴史・文化】** ・歴史・観光が自慢できる。 ・祭りや地元愛がすごい。 ・北海道指定有形民俗文化財の「横山家」にVRのスポットができた。 **【生活】** ・コンパクトに生活できる。 ・町がコンパクト。 ・官公庁関連の施設が揃っている。 ・贅沢を言わなければ、生活に不自由しない。 ・総合病院がある。 **【自然】** ・素晴らしい海がある。 ・夕日や日本海の風景が素晴らしい。 ・災害が少ない。 ・遊び場が身近にある。 ・新鮮な食品を食べることができる。 ・学生が気持ちよく挨拶をしている。	**【施設】** ・眼科等の病院が少ない。 ・医療をもう少し充実させてほしい。 ・医療が不便。 ・遊ぶ所が少ない。 ・自由に使える体育館がない。 ・自然系の公園の手入れができていない。 **【生活】** ・風が強い。 ・高齢者にとっては、買物が不便な街。 ・スーパーに行かないと魚が買えない。 **【その他】** ・坂が多くてお年寄りの方が生活するには大変。 ・歩道が歩きづらい。 ・路上駐車が多い。 ・車に海水がかかる。 ・家賃が高い。 ・空き地、空家が多い。	**【高齢者】** ・互助の町。支え合いがある（地域）。 ・高齢者も社会参加しながらお金を稼げる。 ・医療が整っている。 ・病気の人が少ない。 ・買い物をするお店が近くにある。 ・高齢者が買い物しやすい町 **【若者】** ・子供の遊ぶ所がある（全天候型）。 ・地元に残る若者が今より多い。 ・若い人がたくさんいる。 **【その他】** ・祭の存続。 ・路上駐車のない街。 ・観光客が喜ぶような街。 ・観光客の増加。 ・身近な自然を感じながらの生活。	**【高齢者】** ・まちカフェを推進する。 ・予防医療が進んでいる。 ・運動施設を充実させる。 ・社会の要望を把握して、社会で解決する。 **【若者】** ・子供の遊ぶ所をつくる。 ・小さい子供も遊べる場所をたくさん作る。 **【その他】** ・観光客も祭りに参加できるようにする。 ・駐車場を設ける。 ・観光客に親切な仕組みを作る。 ・道南、もしくは桧山一帯で観光を考える。 ・自然にあまり手をかけず、危険のない整備をおこなう。

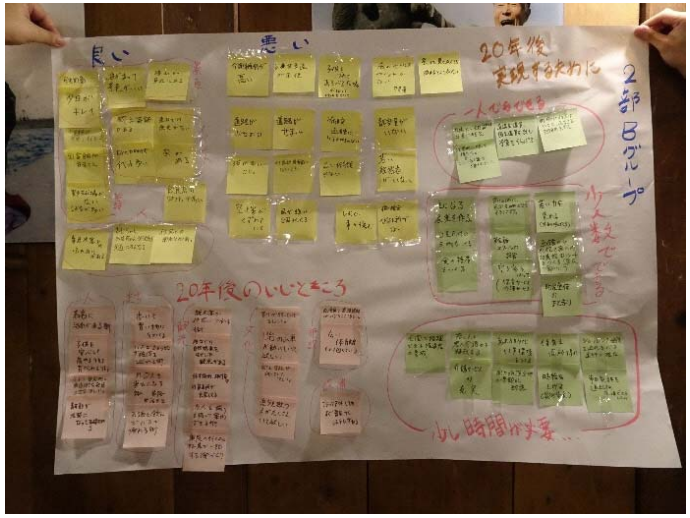
Ⅲ　討議結果

【第二部Bグループ】

グループ討議の様子1

グループ討議の様子2

発表の様子



意見のまとめ

Ⅲ　討議結果

【第二部Bグループの意見】

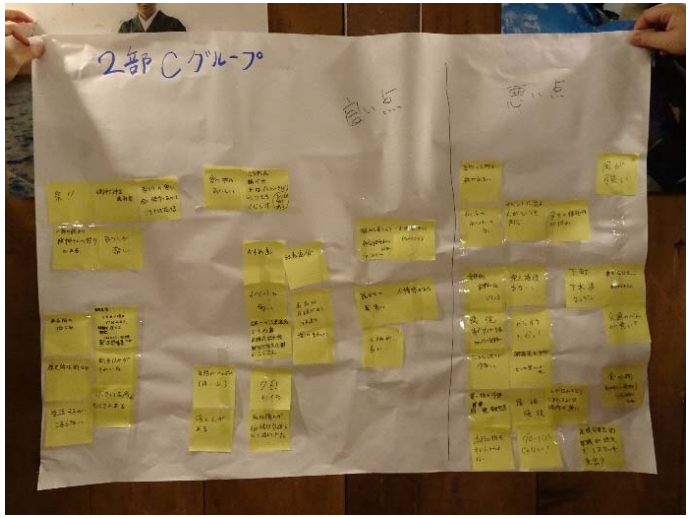
テーマ	今の江差のいいところ	今の江差のわるいところ	20年後の江差のいいところ	実現するために
意見	**【景色】** ・かもめ島の眺めが良い。 ・夕日がきれい。 ・海があって景色がいい。 ・海山が身近にある。 **【イベント】** ・郷土芸能がある。 ・道内では歴史が古い。 ・大小にかかわらずイベントが多い。 ・祭がある。 **【施設】** ・中学校がきれい。 ・図書館がある。 ・野球場が広く、試合が多い。 **【人】** ・観光客とのふれあいがある ・おじちゃんおばちゃんが元気！身近に感じる。 ・住民との関わりが多い。 **【その他】** ・飲食店のクオリティが高い。	・介護保険料が高い。 ・公共交通が不便。 ・子供を連れて遊べる広場がない。 雨の日は、特に。 ・特産品など食のセールスポイントがない。 ・祭を観光客に見せたくても、泊まるところがない。 ・道路がボロボロ。 ・道路が狭い。 ・病院は、函館市に行かないとない。 ・青年部員がいない。 ・坂が多い。 ・町民体育館がない。 ・広い体育館がない。 ・若い経営者がいない。 ・空き家が崩れている。 ・風が強く、台風が頻繁に来る。 ・塩害で車が傷む。 ・椴川に限っては、避難場所がない。	**【人】** ・若者の活気がある街。 ・子供を安心して産める街。安心して育てられる街。 ・今より愛宕町の商店街を発展させてほしい。 ・青年部が活発になっていてほしい。 **【まち】** ・歩いて買い物に行ける。 ・バスでショッピング施設を巡れる街。 ・外国人も来たくなる街。英語を活かせる。 ・お酒を飲んでもバスで帰れる街。 **【観光】** ・観光客が仲間に入れる街。 ・夕日などの自然現象を生かした観光がある。 ・修学旅行や研修旅行の宿泊所が充実している。 ・友人に誇りを持って案内できる街。 ・奥尻へ行くときに、江差で一泊できる街づくり。 **【文化】** ・祭が残っていてほしい。 ・13台の山車が動いていて欲しい。 ・郷土芸能が残っていてほしい。 ・追分を歌う人が沢山いて欲しい。 **【施設】** ・函館と高速道路が繋がってほしい。 ・広い体育館（上ノ国くらい）が欲しい。 **【設備】** ・ブラックアウトしてもすぐ電気が使えるシステムがある。	**【一人でもできる】** ・友達と一緒じゃなくても江差に残る。 ・江差町に残って働く。こういう人達を増やしていく。 ・江差町から道議会議員、国会議員を輩出し、予算をしっかり確保する。 ・町外に住んでいても、ふるさと納税をする。 **【少人数でできる】** ・主となる産業を作る。 ・祭の時に民泊できるようにする。 ・若い力を集める（町外から呼んでくる）。 ・江差だけの名物をつくる。 ・英会話スクールの設営。 ・函館方面から札幌方面への江差経由ルートを作る（奥尻含めて）。 ・食の特産品をつくる。 ・空き家をつかって保育サービスや介護サービスをおこなう。 ・町民全体のまとまりを良くする。 **【少し時間が必要…】** ・全国で活躍できる指導者の育成。 ・若い人を老人介護から解放する。 ・介護サービスを充実させる。 ・魅力的な仕事環境をつくる。 ・風力施設立地の景観的な配慮をする。 ・保育士の所得を向上させる。 ・時給（最低賃金）を上げる。 ・ショッピング施設を巡れるバス運行を確立する。 ・車の免許を返上しても生活できる仕組みを構築する。

Ⅲ　討議結果

【第二部Cグループ】

グループ討議の様子

発表の様子



意見のまとめ1

意見のまとめ2

Ⅲ　討議結果

【第二部Cグループの意見】

テーマ	今の江差のいいところ	今の江差のわるいところ	20年後の江差のいいところ	実現するために
意見	・祭がすごい！！ ・姥神大神宮渡御祭がある。 ・祭の際に家に勝手にあがってごちそうを頂ける。 ・お祭りは、一年の始まり。姥神さんの祭りがある。 ・祭が楽しい。 ・食べ物がおいしい。 ・おいしいものがある。（こうれん、朝イカ、ニシンそば、ベコもち、くじら汁など。） ・商店街の街並み。 ・歴史的な街並み。 ・生活するのに困らない。 ・小さい名所がたくさんある。 ・街並みがきれい。 ・観光客が泊まれる場所が沢山ある。繁次郎番屋など。 ・かもめ島がある。 ・江差追分が良い。 ・有名な民謡がある。江差追分。 ・日本一の江差追分がある。 ・イベントが多い。 ・海がきれい。 ・かもめ島や開陽丸記念館など無形民族文化財がたくさんある。 ・夕日きれい。 ・風は強いが、極端な気候でなく、過ごしやすい。 ・自然（海・山）がいっぱいある。 ・海と山がある。 ・外から来た人を仲間外れにしない。フレンドリー。 ・人が温かい（なんとなく）。 ・話し好きが多い。 ・人情味がある。 ・人柄が良い。	・風が強い。 ・上町と下町の仲が悪い。 ・イベントの連携がない。 ・イベントに出る人がいつも同じ。 ・学生は、イベント等の参加に関して積極性が低い。 ・全体的に高齢化している。 ・老人施設少ない。 ・病院の専門分野が少なく、江差町内で治療を完結することが出来ない。 ・カラオケの料金が高い。娯楽施設が少ない。 ・喫茶店が少ない。雑貨屋さんがない。 ・買物が不便（服・靴・電化製品）。 ・宿泊施設が少ない。 ・人が何となく集まる場所が無い。 ・流行の物を手に入れられない。 ・グローバルじゃない！ ・下町には、下水道がない。コンビニが下水道につながっていない。 ・車がないと…生活が大変そう。 ・交通の便が悪い。 ・食べ物（ものすごい名物）を売っている所が少ない。 ・高校卒業生の就職が、地元企業とミスマッチ。若い人が町外に流出している。	・「ラウンドワン」がほしい。 ・交通の便が良くなっている。 ・美しい街並みを残して欲しい。 ・今の江差（人、まつり、自然、食など）が残っていてほしい。 ・江差追分！江差の唄を絶対残す！ ・高卒の8割が地元で働いている。 ・小さくても多くの人が訪ずれる街。 ・歴史、文化、伝統＋バラエティー性ある街。 ・日本人と外国人の観光客がいっぱいいる！ ・各団体が連携して協力できる。 ・高齢者1人暮らしでも生活できる街。 ・空き家の少ない街。 ・若い子が増加。人口増加。 ・遊べるプール。温泉施設。 ・観光客がたくさんお金を落とせる街。 ・インスタ映えスポットがたくさんある。 ・カフェが欲しい。 ・「しまむら」じゃなくて、「ユニクロ」、「GU」がほしい。 ・生活の便利さを残す。高齢者が暮らしやすい街。 ・姥神大神宮渡御祭の継続。	・人を大切にする。困っている人がいたら助ける。 ・交通の便を良くする。町も負担して細かな公共交通網づくり。小さなバスなどの活用。 ・江差に観光で来てもらう。そして住んでもらう。口コミ活動が必要。 ・若い子や人々の需要を把握して、施設などを作る。 ・小さくても支え合える街づくり。 ・企業が支援して奨学金制度を実施する。 ・外国語のものを増やす（外国語対応公共サイン）。 ・観光スポットやおもしろいものを増やす！（インスタ映えするスポット） ・多くの町民をどうやって巻き込んでいけるかを考える。 ・江差の唄をしっかり唄える人を増やす。そのための指導をおこなう。 ・江差のブランド力を高める。 ・観光のPR。姥神大神宮渡御祭に江差町のすべての山車が参加する。観光客も参加できるようにする。 ・何をアピールしたらよいかを考える。勉強してみんなで意見交換をおこなう。 ・町のコンパクト化。町営住宅を一カ所に集中させる。

Ⅲ　まとめ

第一部　Aグループ

【土地利用について】
・「商店街に活気を取り戻す」ことを「20年後の江差のいいところ」として意見が挙げられています。現状では、空き家・空き店舗が多く、商店街の活性化を実現するためには、「空き家バンク制度」を実施したり、「商店街の連携を図り、空き店舗をレンタル」して「事業者支援をおこなう」というアイデアが挙げられています。

【交通について】
・「バスで巡れて、他の公共交通も利用できる」という公共交通網形成が「20年後の江差のいいところ」として意見が挙げられています。現状では、公共交通が不便という意見があり、20年後の江差を実現するため、ショッピング施設等を巡回する「バスルートの確立」について、アイデアが挙げられました。

【環境・エネルギーについて】
・風が強いという特性から、風力発電の街にするというアイデアが挙げられました。

【その他】
・若い世代に関する意見として、「子育てがしやすいまち」、「子どもがたくさんいる街」という意見がありました。「20年後の江差のいいところ」を実現するために、「子育てサービスを充実」させたり、「まちづくりに若い人の意見を取り入れる」というアイデアが挙げられています。

・「20年後の江差のいいところ」として、「町内各地域のつながりが残っている街」、「地域の深いつながりが、たくさんある街」という意見が挙げられています。実現するための方法として、「社会参加してお金が貰える仕組をつくる」、「地域活動に積極的に参加する」というアイデアがありました。

第一部　Bグループ

【観光について】
・20年後の江差のいいところとして、「観光客がたくさんやってくる。」や「リピーターとして何度も観光客が来てくれる。」、「観光客とのふれあいがある。」という意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「江差のファンを増やし、友達を江差町に連れてくる」、「道南イチの道の駅をつくる」というアイデアが挙げられています。

【交通について】
・20年後の江差のいいところとして、「徒歩でどこでも行ける」という意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「道路や公共交通などの交通インフラを整える」というアイデアが挙げられています。

【その他】
・20年後の江差のいいところとして、「江差の子だけで野球チームを作る」、「子供の部活で1チーム作る」ことが挙げられています。20年後の江差を実現するために、「定住や交流を促進して人口を増やし、住みたい街、来たくなる街になる」や「ポイントを絞ってまちづくりをする（拠点づくり）」「江差の南側にも人が集まる仕組みをつくる」というアイデアが挙げられています。

・20年後の江差のいいところとして、「江差追分が元気」という意見が挙げられています。20年後の江差町を実現するために「郷土芸能を続けていく」ことがアイデアとして挙げられました。

Ⅲ　まとめ

第二部　Aグループ

【公園について】
・「地元に残る若者が今より多い」や「若い人がたくさんいる」ことを「20年後の江差のいいところ」として挙げています。20年後の江差を実現するためのアイデアとして、「小さい子供も遊べる場所をたくさん作る」や、「子どもの遊ぶところをつくる」という意見が挙げられました。

【交通について】
・「買い物をする店が近くにある」や「高齢者が買い物しやすい街」を「20年後の江差のいいところ」として挙げています。実現するためには、「コンパクトなまちづくり」というアイデアが挙がっています。

・「20年後の江差のいいところ」として、「路上駐車のない街」という意見が挙げられました。20年度の江差を実現するために、「駐車場を設ける」というアイデアが挙げられています。

【観光について】
・「20年後の江差のいいところ」として、「観光客の増加」、「観光客が喜ぶような街」という意見が挙げられました。20年後の江差を実現するために、「観光客も祭りに参加できるようにする」、「観光客に親切な仕組みを作る」、「道南・檜山一帯で観光を考える」というアイデアが挙げられています。

【公共施設について】
・「20年後の江差のいいところ」として、「医療が整っている」や、「病気の人が少ない」という意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「予防医療が進んでいる」、「運動施設を充実させる」というアイデアが挙げられています。

【環境について】
・「20年後の江差のいいところ」として、「身近な自然を感じながらの生活」という意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「自然にあまり手をかけず、危険のない整備をおこなう」というアイデアが挙げられました。

【その他】
・「20年後の江差のいいところ」として、「支え合いの互助のまち」という意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「まちカフェを推進する」というアイデアが挙げられました。

Ⅲ　まとめ

第二部　Bグループ

【土地利用について】
・空き家の活用については、「空き家をつかって保育サービスや介護サービスをおこなう」というアイデアが挙げられています。

【交通について】
・20年後の江差のいいところとして、「歩いて買い物に行ける」、「バスでショッピング施設を巡れる街」や、「お酒を飲んでもバスで帰れる街」、「函館と高速道路をつなげる」など、交通に関する意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「ショッピング施設を巡れるバス運行を確立する」や「車の免許を返上しても生活できる仕組みを構築する」などのアイデアが挙げられています。

【観光について】
・20年後の江差のいいところとして、「修学旅行や研修旅行の宿泊所が充実している」や、「奥尻へ行くときに、江差で一泊できるまちづくり」などの意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「（祭りのときに）民泊できるようにする」というアイデアがありました。

【その他】
・20年後の江差のいいところとして、「若者の活気がある街」、「子供を安心して産める街・安心して育てられる街」を挙げています。20年後の江差を実現するために、「若い人を老人介護から開放する」、「若い力を集める（町外から呼んでくる）」「魅力的な仕事環境をつくる」、「保育士の所得を上げる」、「時給（最低賃金）を上げる」などのアイデアが挙げられています。

第二部　Cグループ

【土地利用・交通について】
・「20年後の江差のいいところ」として、「生活の便利さを残し、高齢者が暮らしやすいまち」や、「高齢者が一人暮らしでも生活できる街」、「交通の便が良くなっている」という意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「公共交通網がしっかり機能している」や、「町のコンパクト化」というアイデアが挙げられています。

【観光について】
・「20年後の江差のいいところ」として、「日本人・外国人の観光客がいっぱいいる」や「観光客がお金をたくさん落とせる街」という意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「（外国語対応公共サインなど）外国語のものを増やす」や、「江差のブランド力を高める」、「観光スポットや面白いものを増やす」などのアイデアが挙げられています。

【その他】
・「20年後の江差のいいところ」として、「若い子が増え、江差町の人口が増加する」という意見が挙げられています。20年後の江差を実現するために、「企業支援による奨学金制度を実施する」や、「江差に観光で来てもらう。そして住んでもらって、口コミ活動をおこなう。」などのアイデアが挙げられました。

・「20年後の江差のいいところ」として、「江差追分など江差の唄を残す」という意見がありました。20年後の江差を実現するために、「江差の歌をしっかり歌える人を増やし、そのための指導をおこなう。」というアイデアが挙げられています。